

情報公開 市民参加 市民派無所属
府中市議会議員

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

結城りょう



「府中でも医療崩壊寸前を感じさせる状況に」・・市内の新型コロナウイルスも感染爆発の状態(府中市新型コロナウイルス対策本部会議より)

介護老人保健施設「ふれあいの里」で大型クラスターが発生

1月16現在、府中市内の新型コロナウイルス感染者数は794人となり、この2ヶ月間で448人の急増ぶりです。マスコミ報道ではコロナ感染者の「爆発的感染」により、医療機関が感染者に治療や療養に対応できない「医療崩壊」が叫ばれています。そして府中市でもこうした状況になりつつあるという報告が市の「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」でありました。



コロナ感染者増で保健所の相談窓口の電話もつながりにくい状況に

1月13日に府中市庁舎内で開催された市の「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」における府中消防署の方の発言では、「救急の搬送状況について東京都でも

医療崩壊寸前との話もあるが、昨日(1月12日)はまさにそれを感じさせる状況だった。救急隊5隊で、33件出動しているがその内、6件が病院選定困難な事例であり、30か所の病院に連絡してやっと決まったケースもある」とショッキングな報告をしています。

また市の担当からPCR検査センターの状況について「11月は18日間で335件、12月は22日間で533件、1月2日から8日までに207件の検査を実施しているが、陽性率も上がっている」「昨日くらいから保健所の電話が繋がりにくくなっており、保健センターに濃厚接触者や自宅療養者などからの相談が増加しているが、急ぐ必要がある案件は保健所と個別に相談し対応している」と報告しています。

「救急車のサイレンの音を1日で8回も聞いた」という住民の方も

私も近隣住民の方から「先日は救急車のサイレンの音を1日で8回も聞いた。こんなことはこれまで初めて」という声をいただきました。マスコミ報道などでも「新型コロナの症状になり医療機関や保健所に電話しても対応されていない」という報道が目につきます。

こうしたなか介護老人保健施設「ふれあいの里」(押立町1-9)で大型クラスターが発生、1月17日現在で合計71名の陽性者数がでています。同施設は1月18日現在、通所リハビリテーションとショートステイの利用について、現在も感染収束の見通しがたたないため中止にしています。

高齢者福祉施設でのクラスターはとりわけ重大な問題

今回の「ふれあいの里」でのクラスター発生という事態を重く見なければなりません。9月にも介護老人保健施設「ウイング」(四谷6丁目)で発生したクラスターの教訓がどこまでいかされたのか。介護老人保健施設を利用されているご家族の方々にとっては、一刻を争うお気持ちだと察します。私は市に対してクラスターの検証と対応策をはじめ、市内の福祉関連施設での新型コロナ防止策について、消毒や食事の時間や他の人との会話控える等の対策の徹底はもちろんのこと、早期検査の実施、外部からの感染ルートを徹底して防止するなど、

市独自の施策の早期実施を要望しました。(要望項目は裏面に掲載)

コロナ感染者数は事業所、飲食店より福祉施設、医療機関のほうが多い

1月6日付東京新聞朝刊に「高齢者施設にクラスター多発」という見出しで記事が掲載されました。記事では過去の教訓として「PCR早期検査の実施を」と主張しています。こうした状況を見て、厚労省も自治体に対して独自の検査態勢の整備を求めているとのこと。厚労省調査によると「1月4日時点で高齢者福祉施設でのクラスターは累計で580件、昨年の11月16日時点からすると約2.1倍増えた」とのことです。さらに厚労省の担当者は「検査能力だけでなく、検体輸送の態勢拡充や機器購入などを充実させるよう自治体を支援していく」とあります。

1月9日付朝日新聞には政府の新型コロナ対策分科会調べで、「クラスターの45%が医療や福祉施設で発生」との記事があります。全国の新型コロナウイルス感染者数の分析では、個所数では飲食店などの事業所が多いものの、感染者数では高齢者施設や医療施設の方の人数が多いという分析もあります。こうした施設ではクラスターが発生すると、一気に感染者数が拡大するわけです。

クラスター発生の際の対応は難しい状況にある(医師会)

福祉施設におけるクラスターの問題について、12月の市の新型コロナウイルス対策本部会議で、医師会からは「高齢者・障害者施設でも特養は配置医がいるが、有料老人ホーム、デイサービスなどはクラスターが発生した場合対応が難しいと思う。PCRセンターのバスを出すなど、高齢者は何とかお手伝いできるが、重度障害は対応が難しい。そうした施設でのクラスターが発生しないことを願っています。その点を含め市の対応をお願いしたい」と発言されています。

新型コロナの感染爆発の今日、まさに「人の命がかかっている」緊急事態です。もはや市は国や東京都任せでは済まされない事態です。ワクチン接種はこれからであり、特效薬が開発されていない今日、当面は私たち一人ひとりが感染しないよう、最大の注意を払う以外に方法がありません。行政による適切な支援のもと、これ以上クラスターが拡大しないよう、人の命を守る支援策を市に求めます(裏面に緊急要望項目掲載)。



府中市民への新型コロナワクチン接種について・市が3月から65歳以上の市民にワクチン接種の勧奨、クーポン券を郵送の方向で準備中



全国に「政府が1万ヶ所の医療機関にワクチン保管の超低温冷凍庫を配備」

1月17日付読売新聞に「政府は全国約1万ヶ所の医療機関などの『基本型接種施設』を拠点として実施する方針」「各拠点には氷点下約75度でワクチンを保管できる超低温冷凍庫を配備し、そこを起点に2～8度の冷蔵状態で診療所に輸送する」と報じています。

府中市においても1月13日庁内で「新型コロナ対策推進本部会議」を開催、担当課から市民への新型コロナワクチン接種方針(概要)がありました(市のホームページより以下抜粋)。

- ①市役所内の体制について…市に健康推進課内職員によるワーキングチームを結成、情報収集と準備行為を始めている。
- ②ワクチンの供給時期について…接種開始時期は決まっていなかったが、2月下旬に医療従事者の先行接種が開始される予定。3月下旬に65歳以上

上高齢者への接種が見込まれ、3月から接種勧奨、クーポン券などを65歳以上の方全員に発送するよう国から通知あり。現在契約などの準備中。65歳未満の方へは4月中には発送するよう準備を整える。

③接種会場と方法について…医師会の協力医療機関での個別接種のほか、保健センター等における集団接種の併用も視野に入れ協議中。ワクチンは「ファイザー社」製のものが供給される可能性が高い。ワクチンの接種は大人も2回行うこととされ、1回目の後、3週間後に2回目の接種となり接種料は無料。

④今後の市の接種体制について…国からも人員の確保を求められており、福祉保健部内でもプロジェクトチームを立ち上げ、事務職や保健師、看護職も含めて情報の共有、協力体制の構築を図る。看護師については子ども家庭部のご協力をお願いしたいと想定、集団接種の会場設営や市民への誘導など、部を超えた全庁的な協力を要請したい。

市議会議員 ゆうきりょうは会派「市民の風」として、福祉施設における新型コロナ感染防止策の緊急性を鑑み、複数の要望項目を市長あてに提出しました。

介護 老人保健施設「ふれあいの里」のクラスター対処についての要望

- ①施設内の相部屋の感染防止策の徹底。
- ②施設内で陽性反応の方への今後の経過観察、および消毒や食事の時間や他の人との会話控えるなどの基本的対策の徹底。
- ③施設内のショートステイについて外部からの感染ルートの防止策の徹底。
- ④クラスター発生源について感染経路や感染者の症状などの結果について、市内の高齢者関連福祉施設や介護事業所のケアマネージャーへも報告をすることにより、現場での情報共有を行うこと。

として整備するためにも、介護サービスを提供する事業所に協力を金を支給することなども要望します。

福祉 施設関連に対する感染防止策についての要望

- ①市内の高齢者福祉関連および障害者施設の送迎車に高齢者(障害者)の方が乗る前には、デジタル体温計で検温対策を実施すること。
- ②関係施設の職員の出勤前における検温調査の徹底、および高齢者(障害者)が搬送車に乗る前に各家庭での検温義務付けをすること。
- ③市内の高齢者福祉関連および障害者施設に対して、備蓄マスク、防護服等を確保し、関係職員への配布の徹底など、必要に応じて市からも各事業所に対する物資、財政などの支援を行うこと。
- ④早急に介護老人施設などにはPCR検査を割安でできる体制を構築すること。
- ⑤市内のケアマネージャー同士が連携を深めることにより、ケアマネが新型コロナに感染した場合でもそのサービスを中断させないよう、事業所間での連携を市としてなんらかの支援すること。
- ⑥新型コロナ感染者の療養施設に現在使われていない公共関連施設の活用を図ること。
- ⑦介護する家族の方が感染した場合に、ヘルパーを派遣する態勢を市

結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウィルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただいておりますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです(電話にできない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます)。電話 090-4136-7642

住所 〒183-0004 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

また私、結城りょうはホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。「ホームページ検索→結城りょう」

街の話

西武線多磨駅改良完成…駅は新しくなったけど「駅構内に下り用エスカレーターがないと知ってびっくり!『全面バリアフリー化』と言っていたのに!」(市民の声より)

西武多摩川線多磨駅改良のあり方について、市民の方から投稿をいただきましたので、一部紹介させていただきます。

「バリアフリー」の考えに反する、駅構内下り用エスカレーターの未設置

「西武線多磨駅の下り用エスカレーターがないと知って、びっくりしました。新聞などでは『全面バリアフリー化』とあったので、『うそでしょ』と思いました。どんな問題があったにせよ、下り用エスカレーターを設置しないと決めた背景には、間違いなく『階段を上るより下の方が楽』という思い込みがあるのではないのでしょうか。若い方や足腰の丈夫な健康な方ほど、そう思っているのではないのでしょうか。」

「でもこの考え方は間違いなく『バリアフリー』に反しています。子供を抱えていたり、子供の手を引いて階段を降りるのはとても危険で怖いです。杖なしで歩いていてもなんとなく足腰が不安な高齢者も、階段を降りるのは怖いはず。私も高齢の母を連れて、階段を降りるときはとても神経を使いました。目が悪い人にとっても、荷物をたくさん持っている人にとっても、上りよりも危険で怖いのが下りです。『そういう人はエレベーターを使ってください』という考えも『バリアフリー』に反しています。今の世の中でなぜそういうことが起きてしまったのか、まったく腑に落ちません」。 (市民の方の投稿より、女性)



ゆうきりょうが、ラジオフューズ(FM府中)で毎週火曜日の夜にレギュラー番組をやることになりました

府中市内で放送ローカルFM放送局の「ラジオフューズ」で、私、ゆうきりょうが毎週火曜日の夜、22時45分から6分間、番組をもつことになりました。タイトルは「市議会議員 ゆうきりょう 市民の風」です。市民の声を広く届けたいという思いから、スタートすることになりました。

内容は毎週、市民の方から寄せられた投稿やお声をテーマに、私が市政との関係や街づくりのことで、コメントを加えていくという内容です。また毎週収録した内容については、私のホームページからも拝聴いただけるようにしたいと考えております。毎週6分間という短い時間ではありますが、市民のみなさんに少しでも役に立つ情報を発信できれば嬉しく思います。

★番組名「市議会議員 ゆうきりょう 市民の風」

★放送曜日・時間/毎週火曜日、22時45分～(6分間)

★電波の型式および周波数 87.4MHz

★1月5日(火)の22時45分からスタート

